

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	埼玉医科大学短期大学
設置者名	学校法人 埼玉医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	看護学科	夜・通信			68	68	10	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 実務経験のある教員による授業科目一覧（2021年度）

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	埼玉医科大学短期大学
設置者名	学校法人 埼玉医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.saitama-med.ac.jp/koukai/officer_list.pdf?210401 学校法人埼玉医科大学ホームページ 役員等名簿

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人役員（院長）	2020.5.16～ 2022.5.15	医学・医療等に関する こと
非常勤	公益財団法人役員	2020.5.16～ 2022.5.15	医療政策等に関する こと
非常勤	都道府県行政委員会 委員長	2020.5.16～ 2022.5.15	地域医療等に関する こと
非常勤	現職なし	2020.5.16～ 2022.5.15	科学・学術等に関する こと
非常勤	株式会社役員	2020.5.16～ 2022.5.15	経営・エネルギー政策等 に関すること
非常勤	現職なし	2020.5.16～ 2022.5.15	財務・経営等に関する こと
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	埼玉医科大学短期大学
設置者名	学校法人 埼玉医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成は、各科目の責任者が原案を作成し、委員会にてカリキュラムポリシーに基づきシラバスが適正に作成されているか調査、分析、指導を行います。</p> <p>掲載項目は、授業科目名、担当教員名、コースナンバー、授業の方法(講義、演習、実技、実習の別)、開講時期、必須・選択区分、単位数・開講時間、概要、目的、到達目標、学位授与方針(ディプロマポリシー)／学修成果との関係、成績評価方法・成績評価基準、授業日程・授業項目・内容・担当者、履修者へのコメント、オフィスアワー、教科書および参考書としています。</p> <p>また、実務経験のある教員による授業科目については、目次に印をつけ、該当科目の履修者へのコメント欄に実務経験のある教員による授業科目である旨を、職種を含め記載しています。</p> <p>公表は、学生に授業開始前に配布し、年度初旬には本学ホームページ内にPDFファイルにしたものを掲載しています。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html</p> <p>看護学科シラバス</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>評価方法は試験(筆記、口述、実技など)および論文・報告書提出、平素の修学状況等の形式があり、評価基準も含め科目ごとにシラバスに記載しています。なお、受験資格は講義科目が2/3以上、演習、実技、実習が4/5以上の出席数に達したと認められた場合となります。</p> <p>試験には定期試験、やむを得ない理由にて定期試験を受けられなかった場合に受ける追試験、定期試験または追試験で不合格の場合受けられる再試験があります。</p> <p>成績評価は100点満点の点数とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表します。なお、S、A、B、Cが合格、Dが不合格となります。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価において、客観的な指標としてGPA制度を導入し、GPA実施規則を定め運用しています。 GPAの計算方法は次とおりです。 $(S \text{ の修得単位数} \times 4 + A \text{ の修得単位数} \times 3 + B \text{ の修得単位数} \times 2 + C \text{ の修得単位数} \times 1 + D \text{ の修得単位数} \times 0) / \text{GPA 対象科目の履修総単位数}$ なお、GPA1.9未満は成績不振者とし、該当者へアドバイザーから注意および指導を行うとともに、必要に応じ保護者への説明も行っています。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 学生便覧(P86 埼玉医科大学短期大学GPA実施規則)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学は「人間性、技術共に優れた医療技術者の育成」、「自ら学び、努め、以て病める者への労わりと奉仕心の育成」、「師弟同行の学風の育成」という建学の精神のもと、医療技術に関する高度の理論と技能を教授研究し、豊かな教養と人格を備えて、国民の保健医療向上に寄与することのできる医療技術者を育成することを目的として教育課程を編成している。このカリキュラムを履修し医療技術者として必要な次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」を身につけた学生には卒業・修了を認定し、看護学科は短期大学士（看護学）の学位を授与する。</p> <p>学修成果</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間を総合的に理解できる 2. 科学的な知識・技術を身に付ける <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識・技術・態度を統合して看護が実践できる <p>【主体性・協働性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高い倫理観をもって看護者として自己成長できる 2. 社会の変化に対して適応できる 3. 自己の責任を自覚し、問題解決のために積極的にさまざまな立場の人と協働できる 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 学生便覧(P1 ディプロマポリシー)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	埼玉医科大学短期大学
設置者名	学校法人 埼玉医科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.saitama-med.ac.jp/koukai.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.saitama-med.ac.jp/koukai.html
財産目録	http://www.saitama-med.ac.jp/koukai.html
事業報告書	http://www.saitama-med.ac.jp/koukai.html
監事による監査報告(書)	http://www.saitama-med.ac.jp/koukai.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 自己点検・評価報告書(令和2年度版)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.jaca.or.jp/assets/files/2-1_jigyo/6_kekka/r1/4_R1_saitamaika.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 学生便覧 2 ページ 教育目的）
（概要） 看護専門職として、看護に関する専門的知識と技術の教育研究活動を通じ、生命に対する深い畏敬の念とそれに基づく確かな看護観を持ち、また、教養ある社会人として、豊かな人間性と良識をもって積極的に社会に貢献できる看護師を養成すること。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 学生便覧 3 ページ ディプロマポリシー）
（概要） 看護学科の課程を修め、授業科目区分ごとの所定の単位 101 単位以上を修得したうえで、下記のような知識・技術・態度を備えた学生を認定し、学位を授与します。
学修成果 ①社会の変化に対応できる能力 a. 社会情勢の変化に関心を持つ。 b. 社会の変化に対応する。 ②人間を総合的に理解できる能力 a. 他者を尊重し共感的に理解する。 b. 人間を多角的な視点で理解する。 ③科学的な思考ができる能力 a. 論理的に思考する。 b. 物事を系統的に考える。 ④専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる能力 a. 専門的知識を活用し、健康状態をアセスメントする。 b. あらゆる健康レベルに対応した看護を計画・実施・評価する。 c. 高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護する。 ⑤保健医療福祉チームメンバーとして地域に貢献する能力 a. 継続看護（支援）の重要性を理解する。 b. 保健医療福祉チームの一員としての役割を自覚し遂行する。 c. 地域の医療水準の向上に貢献する。 ⑥看護者として自己成長ができる基盤を身につける能力 a. 自分自身を客観視する。 b. 主体的に行動し、建設的な人間関係を構築する。 c. 自分が置かれている立場・役割を認識し行動する（リーダーシップ・メンバーシップ）。 d. 継続的に学習し、新しい知見を得る。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 学生便覧 3 ページ カリキュラムポリシー）

(概要)

ディプロマポリシーを学生が修得できるように以下の教育内容と教育方法を取り入れた授業を実施し、学修成果の評価を行う。教育内容については、科目構造図と科目進捗表に示し、順次性に配慮し体系的かつ効果的に教育課程を編成する。

①教育内容

- a. 3年間で101単位以上を履修する。
- b. 指定規則と本学の教育内容の対比は、表1の通りである。
- c. ディプロマポリシーを修得するための教育内容は、表2の通りである。
- d. 看護専門職の責任を自覚し、自ら学ぶ力を高めるために早期から臨地実習を設定する。

表1 指定規則と本学の教育内容との対比

	指定規則	本学
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度
専門分野Ⅰ	基礎看護学 (臨地実習を含む)	看護の基本 (臨地実習を含む)
専門分野Ⅱ	成人、老年、小児、母性、 精神看護学 (それぞれ臨地実習を含む)	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法 (成人、老年、小児、母性、精神、在宅看護学) (それぞれ臨地実習を含む)
統合分野	在宅看護論 看護の統合と実践 (それぞれ臨地実習を含む)	看護の総合 (臨地実習を含む)

*本学では、「基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、統合分野」の区分を用いず、教育内容を示す名称にした。

表2 学修成果を獲得するための教育内容

学修成果	教育内容	科学的思考の基盤	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保障制度	看護の基本	ライフサイクルと生活の場	看護の総合
①社会の変化に対応できる能力	a. 社会情勢の変化に関心を持つ	○				○			○
	b. 社会の変化に対応する	○				○			
②人間を総合的に理解できる能力	a. 他者を尊重し共感的に理解する	○							○
	b. 人間を多角的な視点で理解する	○	○	○					
③科学的な思考ができる能力	a. 論理的に思考する	○	○						○
	b. 物事を系統的に考える	○	○	○					
④専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる能力	a. 専門的知識を活用し、健康状態をアセスメントする						○	○	
	b. あらゆる健康レベルに対応した看護を計画・実施・評価する							○	○
	c. 高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護する						○	○	○
⑤保健医療福祉チームメンバーとして地域に貢献する能力	a. 継続看護(支援)の重要性を理解する						○	○	○
	b. 保健医療福祉チームの一員としての役割を自覚し、遂行する							○	○
	c. 地域の医療水準の向上に貢献する					○		○	○
⑥看護者として自己成長ができる基盤を身につける能力	a. 自分自身を客観視する						○	○	○
	b. 主体的に行動し建設的な人間関係を構築する						○	○	○
	c. 自分が置かれている立場・役割を認識し、行動する(リーダーシップ・メンバーシップ)							○	○
	d. 継続的に学習し、新しい知見を得る						○	○	○

<p>②教育方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 講義・演習は、学生の主体的な学びを促進するために、双方向型教育を実践する。また、参加型授業形態の工夫として、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。 臨地実習は、実践の機会を多く持てるように、指導教員および臨地実習指導者が連携する。 シラバスに、卒業認定・学位授与の方針に基づく学習の到達目標、授業内容、評価方法、予習・復習の内容と学習時間の目安を具体的に記載する。 授業評価アンケートを実施し、授業内容や教授方法の改善、組織全体として授業が円滑に運営されているかを検証する。 <p>③学修成果の評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業科目の到達目標に応じて到達基準を明確化し、その到達状況を適切に評価する。 授業科目の学修成果は、授業内容に応じて筆記試験、レポート、実技試験、学習態度などを総合して評価する。 学修成果はフィードバックを行ない、学生が自身の学修成果と課題を把握できるようにする。 GPA を用いてフィードバックを行ない、学生が自身の学修成果と課題を把握できるようにする。 毎年アセスメントテストを実施し、学生・教員の双方が学修成果を確認する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：
<http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html>
 学生便覧 5 ページ アドミッションポリシー）

<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ディプロマポリシーに定める知識・技術・態度の修得を目指し、カリキュラムポリシーに定める教育を受けるための条件として、a～dの基礎学力を身につけるための科目を履修していることが望ましい。 <ol style="list-style-type: none"> 「読む・書く」能力および「論理的思考」能力を必要とする基礎学力 科目：国語総合、コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ等 科学的判断・問題解決能力を高める基礎学力 科目：数学Ⅰ・数学A、化学基礎、生物基礎等 人間・健康・生活・社会（環境）への関心を高める基礎学力 科目：現代社会等 倫理観を高める基礎学力 科目：倫理等 ②保健医療福祉の分野で活躍、貢献したいという目的意識をもっている。 ③豊かな感性、表現力、他者との協調性やコミュニケーション能力を身につけるために、下記 a～c のような活動をしていることが望ましい。 <ol style="list-style-type: none"> 課題への積極的・主体的な取り組み（総合的な学習時間など） 生徒会活動や部活動 ボランティア活動

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html>
 学生便覧 9 ページ 運営組織

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護学科	—	4人	5人	8人	9人	0人	26人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
1人				94人			95人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/feature/nursing06.html 教員一覧					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学科	100人	102人	102%	300人	306人	102%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学科	106人 (100%)	6人 (6%)	100人 (94%)	0人 (0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	106人 (100%)	6人 (6%)	100人 (94%)	0人 (0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）授業科目ごとに、担当教員名、コースナンバー、授業の方法（講義、演習、実技、実習の別）、開講時期、必須・選択区分、単位数・受講時間、概要・目的・到達目標、卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）との関連、評価方法と評価基準、授業日程・授業項目・内容、履修者へのコメント、オフィスアワー、教科書・参考書を記載したシラバスを3月中に作成し、学生には授業開始前に配布する。また、年度初旬に本学ホームページ上にシラバスをPDF ファイルにし掲載する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）授業科目ごとにシラバスに掲載された成績評価方法と成績評価基準により5段階（合格は90点以上のS、80点以上のA、70点以上のB、60点以上のCの4段階、不合格は60点未満のD）で評価する。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	看護学科	101 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html>
学生便覧9ページ 本学施設

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	看護学科	700,000 円	400,000 円	426,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 看護学科の希望する学生に奨学金を貸与します。また、日本学生支援機構（無利子貸与、有利子貸与）、埼玉県看護師等育英奨学金も申込が可能です。 本学キャンパス内には、女子学生を対象とした学生寮があります。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 看護学科の卒業生は、例年約 9 割が医療機関の看護師として働いています。 希望者は埼玉医科大学の関連施設に就職できるので、安心して勉強に集中できる環境です。 助産師をめざすなら、本学専攻科母子看護学専攻への学内推薦制度もあります。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 各学年の小グループ毎にアドバイザーをおき、学生は勉学上のことばかりでなく、学生生活のさまざまな問題について相談することができます。また、希望者には学生健康推進センターの臨床心理士によるカウンセリングを行っています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： http://www.saitama-med.ac.jp/tandai/outline/data.html 自己点検・自己評価報告書

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	埼玉医科大学短期大学
設置者名	学校法人 埼玉医科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		29人	29人	32人
内 訳	第Ⅰ区分	15人	16人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				32人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	一人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	一人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	—人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。